



2015年9月28日

ニュースリリース

シリコンラボ、Bluetooth オーディオ開発を簡素化する新しい iWRAP ソフトウェアを発表

-- 第6世代の iWRAP ソフトウェアおよび BGScript スクリプト言語により、オーディオ・アクセサリに Bluetooth 3.0 コネクティビティを追加する際の複雑性を軽減 --

[IoT](#)(モノのインターネット)向けに、ワイヤレス・コネクティビティ・ソリューションを提供する大手メーカの[シリコン・ラボ ラトリーズ](#)(本社: 米テキサス州オースチン、Nasdaq: SLAB、以下: シリコンラボ)は本日、Bluetooth® 3.0 ワイヤレス・オーディオ・アクセサリ市場向けに、[iWRAP™](#) Bluetooth ソフトウェア・スタックの第6世代バージョンを発表しました。iWRAP 6.1 ソフトウェアは、シリコンラボの子会社である [Bluegiga](#) が提供する、完全な機能を持つ組み込み Bluetooth スタックで、業界を代表する [WT32i Bluetooth](#) オーディオ・モジュールをサポートするように設計されています。iWRAP は、スマートフォン・アクセサリ、ステレオやハンズフリーのオーディオ、有線の代替、Bluetooth HID などのアプリケーションに最適です。iWRAP ソフトウェア・スタックは現在、Bluegiga WT32i Bluetooth モジュールの顧客向けに無料で提供されており、www.bluegiga.com/iwrap から入手いただけます。

iWRAP ソフトウェア・スタックでは、強力で使いやすいコマンド・インターフェースが提供されており、これにより開発者は Bluetooth の通信を制御することができます。iWRAP ソフトウェアは、Bluetooth プロトコル・スタックの複雑性を解消すると共に、単純なオーディオ・アプリケーションから、複数の Bluetooth 対応デバイスとの通信を必要とする複雑な使用状況に至るまで、幅広いケースでのアプリケーションのプロファイルだけでなく、オーディオとデータを同時に接続するようなマルチ・プロファイル環境においても、複雑性を解消することができます。

iWRAP は、シリコンラボの使いやすい [BGScript™](#) スクリプト言語をサポートしています。BGScript は、Bluegiga 製の Bluetooth モジュールすべてに組み込まれており、従来型の Bluetooth 開発環境で求められるような外部ホストの MCU や、別のソフトウェア開発キット(SDK)を必要としないため、コストや複雑性の増加を防ぐことができます。

iWRAP 6.1 ソフトウェアは、次のような新機能をサポートしています。

- オーディオ・トーン・サポート: オーディオ・トーン(ファイル)を Bluetooth モジュールのフラッシュ・メモリに保存し、保存されたファイルを再生可能。
- オーディオ・トーン・ミクシング: オーディオ・トーンを A2DP または HFP オーディオ出力とミクシング可能。
- AVRCP コントローラと対象となるプロファイルの同時使用: 最新のスマートフォンでユーザの操作性を向上。
- ユーザが使用可能な Bluetooth 再接続ロジックの機能強化
- I²C インタフェース用のソフトウェア・アプリケーション・プログラミング・インタフェース(API)の追加

iWRAP スタックは、Bluetooth ワイヤレスの開発スキルやツールがなくてもご使用いただけます。UART 上におけるこのソフトウェアの単純な ASCII ベースのコマンドとレスポンスによる API は、使いやすく習得も容易なため、

Bluetooth アプリケーション開発を簡素化し、開発期間を短縮できます。iWRAP は最大 7 つの同時接続と、最大 500 kbps のデータ・スループットを実現できます。ソフトウェアは UART 経由でカスタマイズでき、現場でアップグレード可能です。

iWRAP ソフトウェアは、Apple iAP1 および iAP2 プロファイルを含む、データおよびオーディオ・アプリケーション用の 13 の統合プロファイルをサポートし、市場のすべての Apple iOS デバイスに対応しています。また、iWRAP により、メディア・ブラウジング機能を持つ AVRCP v1.5 などの Bluetooth オーディオ・プロファイル、SMS の通知およびメッセージのダウンロード用の MAP プロファイルをサポートし、さらに Bluetooth オーディオ環境を拡張する、新しい aptX および AAC オーディオ・コーデックの最新バージョンが追加されます。

シリコンラボで、ワイヤレス・モジュール製品担当ゼネラル・マネージャを務める Riku Mettälä は次のようにコメントしています。「モバイル・ハンドセットを利用したワイヤレスのオーディオ・ストリーミングが一層普及し続けているため、Bluetooth Classic オーディオ・ソリューションの力強い需要は今後も継続して生まれます。弊社は、ワイヤレス・オーディオ・アクセサリ市場を対象とした Bluetooth 3.0 ソリューションの大手サプライヤとして、iWRAP スタックの機能を拡張し続けており、新しい第 6 世代では、最新の Bluetooth オーディオ機能をサポートしながら、同時に弊社の BGScript 言語のような使いやすいツールによって、ワイヤレスの開発を簡素化させています」

シリコン・ラボラトリーズについて

シリコン・ラボラトリーズ(略称: シリコンラボ、NASDAQ: SLAB、本社: 米テキサス州オースチン、www.silabs.com) は、IoT(モノのインターネット)、インターネット基盤、産業オートメーション、民生及び自動車市場向けにシリコン、ソフトウェア、及びシステム・ソリューションを提供する業界大手メーカーです。シリコンラボは、エレクトロニクス産業の困難な課題を解決し、性能、省エネルギー、コネクティビティ、設計の簡素化の面で大きなメリットをお客さまにご提供します。ソフトウェア及びミックスドシグナル設計の分野で、卓越した技術力を有する世界クラスのエンジニアリング部門を擁することで、シリコンラボは製品開発に携わる皆さまに、初期構想から最終製品に至るまでのプロセス改善に必要なツールをご提供します。会社概要・事業内容の詳細は www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えますが、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会(SEC)へ最近提出した書類をご覧ください。

Silicon Laboratories, Silicon Labs, S ロゴ, Silicon Laboratories ロゴ, Silicon Labs ロゴは、Silicon Laboratories Inc.の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

シリコンラボ、Bluetooth オーディオ開発を簡素化する新しい iWRAP ソフトウェアを発表

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: (米国)1-512-532-5871 E メール: dale.weisman@silabs.com

公式 Twitter アカウント <http://twitter.com/silabs> 公式 Facebook アカウント <http://facebook.com/siliconlabs>

シリコンラボ製品紹介サイト www.silabs.com/parametric-search.

ミアキス・アソシエイツ 河西 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Y.K. TEL: 03-5460-2411(代表) www.silabs.com

以上